



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2016

11月22日号

155
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (559)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

ピンクリボン運動



副会長 平井和子

10月はピンクリボン月間ということで、各地でピンクリボン運動が行われました。

現在、日本人女性の12人に1人が乳癌に罹患すると言われていています。また、乳癌で亡くなる女性は13,500人（2015年）を超え、1980年と比べ約3倍にもなっています。しかし、乳癌は早期発見により適切な治療が行われると、良好な経過が期待できます。日本人女性の場合、乳癌に罹患する数は乳癌で死亡する人の数の3倍以上となっていますが、これは乳癌生存率が比較的高いということの表れと言えます。

一般的に年齢が高まるとともに癌は増える傾向にありますが、乳癌は30歳代から増加しはじめ、40歳代後半から50歳代前半にピークを迎え、比較的若い世代で多くなっています。最近、芸能人の乳癌の話題も多く、特に、小林麻央さんのブログ「KOKORO」では、癌の告知から肺や骨への転移のこと、ステージのことなど、普通は語られないことを自ら公表しています。このような勇気が多くの方に感銘を与えていると同時に、ご本人にとっても生きる活力となっているように思えます。このブログが乳癌に対する関心や啓発に繋がっていることは明らかで、決してあきらめない前向きな姿勢に敬意を表したいと思います。

欧米などでは、検診受診率の向上により早期発見が増え、死亡率が年々減っています。その一方で、日本では国が定期的な検診受診を推奨しているものの、乳がん検診受診率はOECD（経済協力開発機構）加盟国30か国の中で最低レベルに位置し、年々死亡率は増加傾向にあります。

若い年代で乳がんを患う女性も少なくない現状ですから、若い時から関心を持つことが大切です。10月は、乳がんの正しい知識と検診の大切さを伝えるためのピンクリボンフェスティバルが各地で行われ、啓発イベントを開催したほか、ライトアップや交通広告等の展開を通して、街からもメッセージを発信しました。ちなみにピンクライトアップは、東京都庁や六本木ヒルズ、神戸ポートタワー、姫路城、熊野本宮大社、仙台城跡伊達正宗公騎馬像など、日本各地の観光スポットでも行われ、年々広がりを見せています。

現在、県内各施設では、乳がん検診真最中かと思っています。マンモグラフィは、被写体が様々ですので、技術の差が出やすい検査です。私たち技師は多くの受診者の撮影をしています。受診者にとっては、その撮影がすべてです。一人一人に対し、恥ずかしくない撮影をしていますか？ 常に、自分に対し厳しく向き合ってほしいと思っています。

～会長「オンレコ」～

1 「第8回 放射線管理士セミナー」

8月20日(土)神奈川県管理士部会との共催で行われました。神奈川から9名、山形・宮城・群馬等からも参加がありました。ただ聞くだけの会ではなく、セグメント法の実践等を行いました。特別講演での福島医大熊谷先生から、質問や住民被ばく相談の模擬体験もあり有意義な内容でした。会長として、挨拶と修了証授与を行いました。

2 「平成28年度福島県原子力防災訓練」

8月29日(月)14時より、第2回福島県原子力防災通信訓練を行いました。通達の届いた時間や内容を確認し、訓練終了後に報告を行いました。

9月8日(木)には、災害対策委員会を開催しました。今年度の訓練の打ち合わせを、遊佐委員長と管理士部会佐久間さん、菅野修一さんと行いました。また、管理士部会の組織的な立ち位置についても検討しました。10月2日(日)に、事前講習を星総合病院で行いました。訓練当日は、東北放射線医療技術学術大会と重なり参加出来ませんでした。

3 「ふくしま医療開発支援センターの オープンイベント」

毎年、メディカルクリエーションふくしまの後援を行っていました。その母体が、郡山にセンターを11月にオープンさせるのに先立ち、9月13日(火)にイベントを開催しました。福島県は知られていませんが、医療機器の生産

は全国3位です。ロボットスーツの開発等、センターを利用して医大との連携して行くようです。

4 「全国会長会議」

9月16～18日の間、日放技全国学術大会が岐阜で開催されました。大会参加者は2550名でした。2日目の夜には、全国会長会議が開かれました。私から「サーベイトームを立ち上げ、各県技師会で県との協定を結ぶようにとあるが、日放技からも各県に事前に申し入れて頂けると助かります。」と意見しました。最終的に「検討します」との回答でした。

その他、統一講習会の状況、定款修正事項、都道府県組織率等が話し合われました。また来年度は、設立70年の記念式典があるようです。

学術大会では、管理士セミナーで佐久間さんが福島の実状を訴えました。

5 「東北会長会議」

10月21日、第6回東北放射線医療技術学術大会の前日に秋田市で開催されました。日放技第4回理事会報告や秋田大会の報告、青森大会の報告がありました。統一講習会については、各県で年1～2回開催する事になりました。また各県から事業報告がありました。学術大会の総登録者数：502名（秋田130、青森45、岩手41、宮城94、山形41、福島40、新潟27、他県8、学生12、企業62名）。懇親会参加者数：210名でした。

福島県診療放射線技師学術大会開催

学術奨励賞・新人賞・論文賞の表彰

【学術奨励賞】

- ・「無線型フラットパネルディテクタ搭載ポータブル撮影装置の導入」～稼働までのプロセスと現状～
竹田総合病院 根本 彩香
- ・「X線シミュレータ装置と小線源治療計画装置の幾何学的位置精度の基礎検討」
福島県立医科大学附属病院 山田絵里佳

・「検診現場における放射線科医師介入による異常所見検出率について」

常磐病院 高橋 豊和

・「X線撮影装置始業点検におけるX線出力変動の簡易チェック方法について」

福島県診療放射線技師会 精度管理委員会

佐藤 政春

・「各社の逐次近似応用画像再構成におけるヘリカルスキャンのSSP測定」

県北MDCTカンファランス

大原医療センター 橋本 浩二

「負荷心筋血流シンチグラフィ1日法における
同容量投与の検討」

星総合病院 続橋 順市

【新人賞】

「CO2を用いた回転DSA撮影の有用性の検討」

福島県立医科大学附属病院 角田 和也

【論文賞】

「心筋血流SPECTにおける心筋血流量評価の
ための撮取率測定法の考案」

白河厚生総合病院 小室 敦司

【特別賞】

「The Estimation of Thyroid Equivalent Dose by
the Surface Contamination Counts and Radionuclides
Analysis of Clothes」

福島県立医科大学附属病院 大葉 隆



(新里会長を囲む受賞者の皆さん)

・受賞者の皆さんおめでとうございます。
学術大会については次号に掲載します。

～研究会報告～

「福島県デジタル画像研究会」開催

教育講演では、心臓や冠動脈に焦点を当てた、各メー



(写真：講演の様子)

カー様による異なるモダリティのお話しをお伺いすることができました。特別講演では、福島県立医科大学、放射線医学講座教授 伊藤浩先生から、貴施設での臨床や臨床研究についてお話しをお伺いすることができました。

メーカーは、撮影に関する基礎知識や現状に加えて、最新情報や今後の展望について丁寧な解説をして下さいました。患者様への被曝低減や検査の安全性の向上、画質の向上などに関する信頼のあるデータを数多く拝見させて頂くことができました。今回の研究会のお話しを参考にして、今後自身が撮影を担当するときに、装置の機能を充分発揮して、患者様に少ない負担で撮影できる技師を目指したいです。伊藤先生からは、PET/MRIを臨床で使用した際の、症例に応じた撮影法や補正法、処理法を画像と共に説明して頂き、非常に参考になりました。また、今後取り組まれる研究に関するお話しなどもお伺いすることができました。他施設の取り組みを知ることによって、自身の知識不足、勉強不足を感じました。研究分野のお話しは非常に興味深く、結果に注目したいものばかりで、今後発表される機会がありましたら、ぜひ拝聴させて頂きたいと感じました。(総合南東北病院 神長)

▶ 「日本診療放射線技師学術大会」開催報告

2016年9月16日から18日まで、岐阜市の長良川国際会議場と岐阜都ホテルを会場に行われた、第32回日本診療放射線技師学術大会に参加してきました。全国から2,500

名を超える技師の参加があり、どのセッションでも席が埋まるほどの大盛況で、活発な質疑応答がされていました。

医療被曝低減・検査説明・医療被曝相談に関しては様々な学会や分科会で取り上げられていました。総合すると患者様から信頼されるためには、線量評価を行い、自施設での現状を把握し、J-RIMEが提唱するDRL等と比較し適正化を検証すると共に、検査説明と被曝相談に取り組むことが重要であると再認識しました。これらの取り組みは日本診療放射線技師会認定の医療被ばく低減施設受診項目に繋がるところもありますので、福島県全体でこのような取り組みを行い、結果として医療被ばく低減施設取得ブームに繋がればと感じました。

放射線管理士分科会企画では放射線管理士の活動を考えるというテーマのもと「福島第一原発事故から5年経過して」という題名を頂き、震災直後から福島県放射線管理士部会が取り組んできた、放射線管理士セミナーの様子、原子力防災訓練への参加、避難指示解除地域の線量把握事業への参加協力などを福島の現状を踏まえて発表してきました。フロアの皆様には当管理士部会の地道な活動が伝わったと思います。

私が座長を務めたセッションは主に災害関連の発表で



(写真：情報交換会の様子)

した。災害現場で用いるX線装置は格段の進歩により移動や展開が容易になったため、今後は震災初期における適正な配置や使用の策定が望まれ、そこには診療放射線技師が専門職という立場を活かして深く関わっていくことも可能になると思いました。残念だったのは、福島県からの演題発表が少なかったことです。開催場所が遠いという原因もありますが、来年度は函館ですので皆さん全国にどんどん発表していきましょう。

(県管理士部会長 佐久間守雄)

地区だより

浜通り地区

「Live配信シンポジウムCMRS2016」

2016年9月29日いわきワシントンホテル椿山荘において、Live配信シンポジウムCMRS2016造影剤と放射線シンポジウム2016が第一三共株式会社主催で行われました。

演題

CTにおける造影剤リスク管理

広島大学大学院歯薬保健学研究院

放射線診断学教授 栗井 和夫先生

当院が抱えている造影検査への対応や、腎機能の悪い方への造影検査をどのように行うか、血液データの値の有効期限、電子カルテによる造影検査オーダー依頼の工夫、職員の教育など紹介していただきました。

MRI用造影剤安全使用のポイント

順天堂大学大学院医学研究科

放射線診断学講座 教授 桑鶴 良平先生

各種ガイドラインの紹介、全身性の副作用、急性

の副作用への対応、腎に関連した副作用などについて教えていただきました。



(写真：講演の様子)

両先生ともわかりやすく詳しく講義していただき大変勉強になりました。今後の仕事に生かしていきたいと思います。

(広報担当 菅原)

県南地区

「ファミリーフェスタ2016郡山」

郡山ファミリーフェスタは震災後、郡山体育館からカルチャーパークへ会場を移し、順調に来場者数を伸ばしていました。今年のフェスタは会場をピックパレットふくしまに変更しさらにスケールアップしました。実は変更した経緯が不透明で、また会場レイアウトも不確かだったため、我々参加者サイドはいろいろと調整が必要になりました。準備もそこそこで不安のまま、当日を迎えたのですが結果的には成功裏に終わりました。技師会のブースは昨年よりも狭くなり、諸事情で技師会のノボリも立てられず、パネル展示だけだったので地味な感じは否めません。しかし女性会員2名を含む5人の会員は技師会の活動をアピールし続けました。技師会ポケットティッシュや乳がん自己診断の案内をクリアファイルに挟み込んで準備したのですが、気が付けば400部以上を配布していました。嬉しいことに女性会員の活躍で女性来場者に大変多く立ち寄りいただくことが出来ました。また、今年は交替で他部会のブースにお邪魔したり、ステージを覗いたり、楽しむことが出来た1日でした。

(厚生担当 濱端)



(写真：ブースの様子)

県北地区

「福島県CTビギナーズセミナー県北支部講習会」

平成28年10月16日13時30分より福島県立医科大学 放射線部カンファランス室にて県北地区CTDI測定講習会が開催されました。

CT検査における被ばく線量の指標となるCTDI測定講習会であり、参加した皆様は熱心に講義を受け測定実習を行っていました。(広報担当 阿部)



(写真：講演の様子)

会津地区

「第32回健康まつり in 会津」

平成28年10月23日(日)に会津文化センターにて第32回健康まつりが開催されました。

会津地区放射線技師会からは、放射線やCT、マンモに関する情報を市民の皆さんにわかりやすいように説明したパネルを作り、それをブースに展示しました。また、放射線に関するクイズをブースに来場した方たちに出題したり、新しく作成したクリアファイル、ティッシュを配ったりして皆様とても喜んでいました。子供からお年寄りまで、たくさんの方がご来場していただき、たいへん有意義な1日になりました。(広報担当 浅川)



(写真：ブースの様子)

【会費納入方法】

JART会員の方

振込み用紙の請求は、JART事務局へお問い合わせください。

JARTご連絡先

(公社) 日本診療放射線技師会事務局 会費収納係
電話：03 - 5405 - 3612
(月～金 9：30～17：30)

県技師会のみ会員の方

- ・お手元に届けられた振込用紙は12月までご使用できます。
- ・振込用紙を紛失された方は、下記の方法どちらかをご利用ください。

年会費：1万円

(前年度未納の方は併せてご利用ください)

郵便振替

郵便局備付の用紙に下記項目を記入のうえ、窓口(手数料有料)にお出しください。

口座番号：02110 - 6 - 7186

加入者名：公益社団法人 福島県放射線技師会

銀行振替

郵便局備付の用紙に下記項目を記入のうえ、窓口(手数料有料)にお出しください。

東邦銀行 福島医大病院支店

店番号：130 口座番号：33081

加入者名：公益社団法人 福島県放射線技師会

TEL：024 - 536 - 1242

編集後記

「ラジエーションハウス」お手にとっていただけましたか？技術学会や技師会の学術大会でもサイン会のブースが設けられていたので、目にした方も多いのではないのでしょうか。世間では馴染みの薄い私たち「診療放射線技師」が主人公の作品です。震災後、放射線の誤った情報のために、仕事がしにくくなった時期もありましたが、ラジエーションハウスを通して、診療放射線技師の仕事を一般の方にも、知ってもらえればと思います。

グランドジャンプ藤江編集長から「診断のために最も大切な放射線科を、世に広めたいと願って描いた初めてのマンガです！このマンガが書店様で盛り上がる事で、患者様や一般の方々にもさらに広く、深く皆様のお仕事を知って頂く事が出来るようになると思います。」とのメッセージを頂いています。第2巻が10/19に発売しました。今回は、骨腫瘍と高濃度乳腺のお話です。技師のみなさんには違和感を持つシーン(院内でタバコとか...)もあるかもしれませんが、画が可愛くて、医療用語もわかりやすく解説されています。技師の新人教育や医療ドラマが大好きな子供たちもうってつけです(笑)この機会に、みなさんお手に取ってみてください。目指せドラマ化!!
(総合南東北病院 國分)

